
怪奇少年

帰還兵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怪奇少年

【Nコード】

N8808Z

【作者名】

帰還兵

【あらすじ】

この物語は幽霊や妖怪なんて存在するわけがないと思っていた少年がある日大事故に巻き込まれ、生死の境をさまよった挙げ句に靈感に目覚めてしまったり、成仏出来ない幽霊達の為に奮闘するはめになったり、TKG（卵かけ御飯）を愛する陰陽師少女に出会ってしまったたり、奴良組とか言う妖怪集団の存在を知ってしまったたりする物語である。

プロローグ（前書き）

初投稿です！

駄文だったり脱字、誤字などがあると思います。

プロローグ

皆さんは幽霊や妖怪といった存在を信じているだろうか。

一言に幽霊や妖怪と言ったら、昔から様々な地域に語り継がれている物や地域によって内容が変わってくる都市伝説などがある。

でも僕はそんな居るか居ないか分からない存在なんて絶対居ないと思っっている。

だってそうでしょ？今の時代にそんな非科学的な事信じる奴なんてごく僅かって事くらい当たり前じゃないか。もし居たんだとしたら僕はその幽霊や妖怪に「早く成仏しろこの半透明共！」と罵って何時間も説教したいと思っっている。

僕の名前は柏崎 望。まあ、何処にでも居るようなただの中学一年生だ。

特に過酷な環境や家庭に生まれた訳でもなく今まで特に不自由なく普通に暮らして来た。

まあでも両親が共働きで海外に行っているので少し他の家庭とは違

ったりする所もある訳だが、だがまあ別に寂しかったりはしない。
何故かって？それは、一週間に一度来る親からの手紙があるからだ。
僕の一週間に一度のちよつとした楽しみだったりする。

まあ両親が海外に行ってしまった以外は特に変わった事は無い。
・・・いや待て一つだけ僕の自身の事があった。

僕こと柏崎 望は幽霊や妖怪の存在を一切信じて無いと言う部分が
あった。

別にそういう物語を読んだり聞いたりすると言う事は嫌いな訳では
ないが、やっぱりそういうのは物語や噂だけの物であり現実にはそ
んな存在居る訳が無い・・・そう思っていた時期が僕にもありまし
た、あの事故に遭うまでは・・・。

プロローグ（後書き）

取り敢えず次回は主人公設定などを投稿したいと思います。

主人公設定（前書き）

主人公設定です。

主人公設定

名前：柏崎望かしわき nozomi

性別：男

誕生日：7月7日

身長：151cm

体重：43kg

容姿：髪は少し肩にかかる程度で色は黒、顔は至って普通。

性格：内気で余り騒がなくおとなしい性格。

しかしけして暗い性格ではなく人とは普通に接する事が出来る。

好きな事、趣味：ホラー小説・漫画を読む事。ホラー映画の鑑賞。

嫌いな事：学校の数学の時間、戦闘。

今作品のオリジナル主人公。幽霊や妖怪が登場するオカルトな話を見たり聞いたりする事が好きな何処にでも居るような中学一年生である。

でもその存在が現実にはある訳が無い、あつてたまるかと思つてい

る。
しかしある大事故に巻き込まれた事がきっかけで靈感に目覚めてしま

家族構成は父、母、自分。両親共に海外に働きに行っている為に現在一人暮らし。一週間に一度両親から送られて来る手紙が密かな楽しみ。

主人公設定（後書き）

今の所こんな感じですよ。
るかもです。

話が進むにつれて設定を追加する事があ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8808z/>

怪奇少年

2011年12月28日00時55分発行